

水難予防の出前講座は如何ですか？

日本赤十字社 参与 三井 俊介

練馬区民を始め、在勤・在学・関係の皆さまに新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

一年前の水夢55号の中で、水泳仲間と一緒に「水難予防勉強会」を立ち上げたということをお話しました。昨年10月中旬には4回目の勉強会を開き近況報告と情報交換を行い、メンバーの一人から10月13日の「スポーツの日」に東京アクアティクスセンター（江東区辰巳）で開催されたアクアスポーツフェスティバルで担当したプログラムの報告がありました。プログラム名はチャレンジアクア&スノーケリング体験会というもので、約40人の小学生にライフジャケットを装着してもらったうえで、三点セット（マスク・フィン・シュノーケル）を身に付け、ダイビングプールの水中を覗（のぞ）いてもらう体験を支援したそうです。当初は、着衣・着靴で浮く体験をしてもらうプログラムも考えていたものの、プール側のOKが得られなかったとのことでした。

さて、警察庁は昨年9月中旬に同年夏期（7月・8月の2か月間）における水難の概況を同庁HP上で公表しました。同概況によれば、発生件数446件（前年対比－42件）、水難者535人（同－66人）うち死者・行方不明者（以下、死者等という。）241人（同－1人）でした。同庁は、過去5年間の夏期における水難発生状況は概ね横ばいであると述べています。これらを年齢層別に水難者・死者等・最多発生場所・最多行為の順に並べてみると次のようになります。

- ①中学生以下の子ども；103人・15人・海・水遊び、
- ②高校生又は相当年齢；18人・8人・海・水遊び、
- ③高校卒相当年齢以上65歳未満；242人・94人・海・水遊び、④65歳以上；146人・108人・海・魚とり釣り、⑤不明；26人・16人・河川・不明

注 i) 中学生以下を細分化すると、未就学児童；20人・1人・海・通行中、小学生；37人・4人・海・水遊び、中学生46人・10人・海・水泳／水遊びです。注 ii) ⑤の不明とは、警察庁による集計時点では身元が明らかになっていないことから年齢不詳を意味します。

以上のことから、死者等の数が多いのは65歳以上の高齢者であることがわかります。

ここからが本題です。前述した死者等241人を水難者535人で除すると0.45、つまり致死率45%ということになり、水難事故の特徴を述べるとすれば、溺れた者の半数近くは亡くなるか行方不明ということになります。つまり、溺れるという状況に陥る前に水難を避けることが大切なのです。これを読んでいる方からは、「そんなことは分かっているよ。」と言われそうですが、避けるための実効性ある取り組みは、水辺活動における必要な知識・理解と身の処し方です。着衣・着靴状態で水中へ転落した場合、浮いて呼吸を確保し救助を待つなどもその一つですね。一般的に「着衣泳」と呼ばれているものに対し、筆者は「衣服と靴を味方に付けて助けを待つぞ、着衣浮き」という呼び方をしています。この呼称の肝（きも）は、「衣服と靴」が浮くためにプラスに働く、ということを知っていただくことです。

練馬区水泳連盟（区水連）の事業執行に当たる役員は、区内の子ども達にそれらの内容を指導するノウハウを持っています。また、区水連としてライフジャケットや要救助者を陸上／船上から救助するためのロープ（一般的にスローロープと呼ばれています。）も所有しています。学校のプールを体験／練習の場として、教育行政・学校現場と区水連とのタイアップにより水による事故で命を失う人を減らし、水泳愛好者を増やすということができる可能性があります。

区内のどれだけの方がこの水夢紙面に目を通してくれるか分かりませんが、是非ともタイアップ事業の実現に関心を示してくださると幸いです。最後に、もう一度申し上げます。「水辺活動等における溺れや水中への思わぬ転落」により溺者という立場に陥ると、その半数近くの方が命を失うことになります。このような理不尽なことが起こらないように、区水連に相談してみてください。



第78回練馬区民スポーツ大会 水泳競技会（小中学生の部）

HP

2025年9月21日に練馬区立光が丘体育館プールにおいて、第78回練馬区民スポーツ大会水泳競技会（小中学生の部）が開催され、個人種目総数で約350名がエントリーし、日頃の練習の成果を試す場となりました。



開会式と選手宣誓



メドレーリレー表彰



大会風景

「仲間との区民大会」 富士見中学校3年 田辺清香、木村菜歩

私たちはこの度初めて練馬区民大会に出場しました。初めての会場で慣れない雰囲気の中であつたため、最初は緊張がなかなかほぐれませんでした。これまでやってきた練習を思い返したり、同輩や後輩と互いに励まし合ったりして全力で種目に臨むことができました。

個人種目では一人一人の全力を出すことができ、リレーでは一緒に泳ぐ仲間だけでなく他のグループの人たちとも高め合い、それぞれが良い結果を出すことができました。区民大会には一度しか出場できませんでしたが、色々な種目に挑戦することのできるこの大会に参加できて大きく成長できたと感じられ、貴重な経験となりました。また高校で参加できる機会があれば是非参加したいです。

